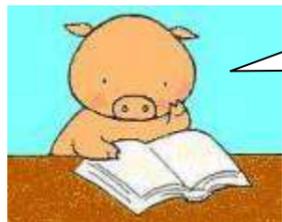


どんなところ？ぼくのまち

No.1 入間市の誕生

はじめまして

なまえは **とんちゃん** です



ぼくす
僕の住んでいる
ところ
所は…

さいたまけん いるまし
ここ、**埼玉県 入間市**です。

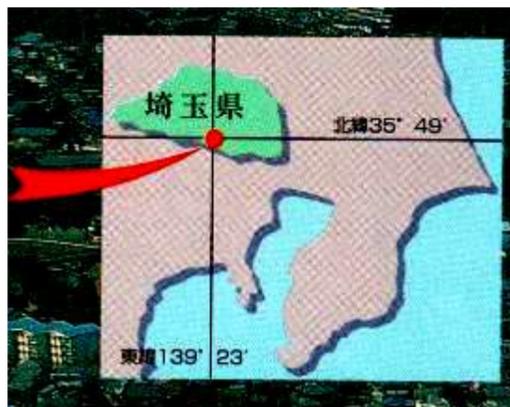
地図のなかでは、

北緯35度49分・東経139度23分（市役所の位置）

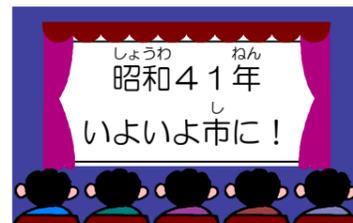
面積は、44.69 km²（平成27年3月6日現在）



いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりょく いるましはくぶつかん
協力・入間市博物館



いるまニュース！！



そこで、新しい市の名前を広く募集したところ…

応募市名 297点 応募者数2,332人

こんな名前が寄せられました。

- いるま ・入間
- いりま ・入間
- いるまの ・入間野
- かねこ ・金子
- さいたま ・埼玉
- しゅうぶ ・修武
- とよたけ ・豊武
- ひがしとよおか ・東豊岡
- ぶしゅう ・武州
- むさし ・武蔵
- むさしとよおか ・武蔵豊岡
- ゆたか ・豊 など



選ばれた「入間」という名前は？

- この辺りは、昔から「入間野」と呼ばれていたこと。（「吾妻鏡」による）
また、ここで作られている生産物に「入間」の文字が盛んに使われていて一般的であることから。
- 漢字も、「入」は豊かな収入、「間」は「太陽を囲んだ平和な生活を営むこと」を表す。
———このような理由で選ばれた名前です———

「入間市」が誕生したのは、昭和41年11月1日のことでした。

入間市は、いろいろな町や村が一緒に
なってできた市です。

そのときの人口は、4万6,234人

次の年、西武町（現在の仏子、野田、新光）
が一緒になって、5万5,158人

平成25年7月現在 15万2,433人

うわ〜っ 約3倍になったんだ



一緒に<市章>（市のマーク）も決まる！

応募点数1,024点の中から兵庫県に住む主婦の方がデザイン
したマークになりました。
入間の「入」を若鷺の形にし、円は、市の円満・融和と団結を、
中央の白い部分は、市の躍進・向上を表したもの。

昭和56年には、市民アンケート調査の結果をもとに、次のものも決まりました。

市の花…茶の花



参考資料

「入間市史近代2・現代史料編」
「入間市史近代2・通史編」
「いるま 1996市制施行30周年記念市勢要覧」

市の鳥…ヒバリ



市の木…けやき



「埼玉大百科事典」
「市報いるま」

平成28年には新たな観光
大使「いるティー」が誕生

しました。
お相撲好き
なひばりの
男の子です。



ぶんかざい いるまの文化財

いるまし かすおおく してい とうろく
入間市には数多くの指定・登録
ぶんかざい
文化財があります。

- くにしていじゅうようぶんかざい けん
・国指定重要文化財 2件
- さいたまけんしていぶんかざい けん
・埼玉県指定文化財 2件
- いるまししていぶんかざい けん
・入間市指定文化財 70件
- くにとうろくけいぶんかざい けん
・国登録有形文化財 3件
(2016年6月現在)

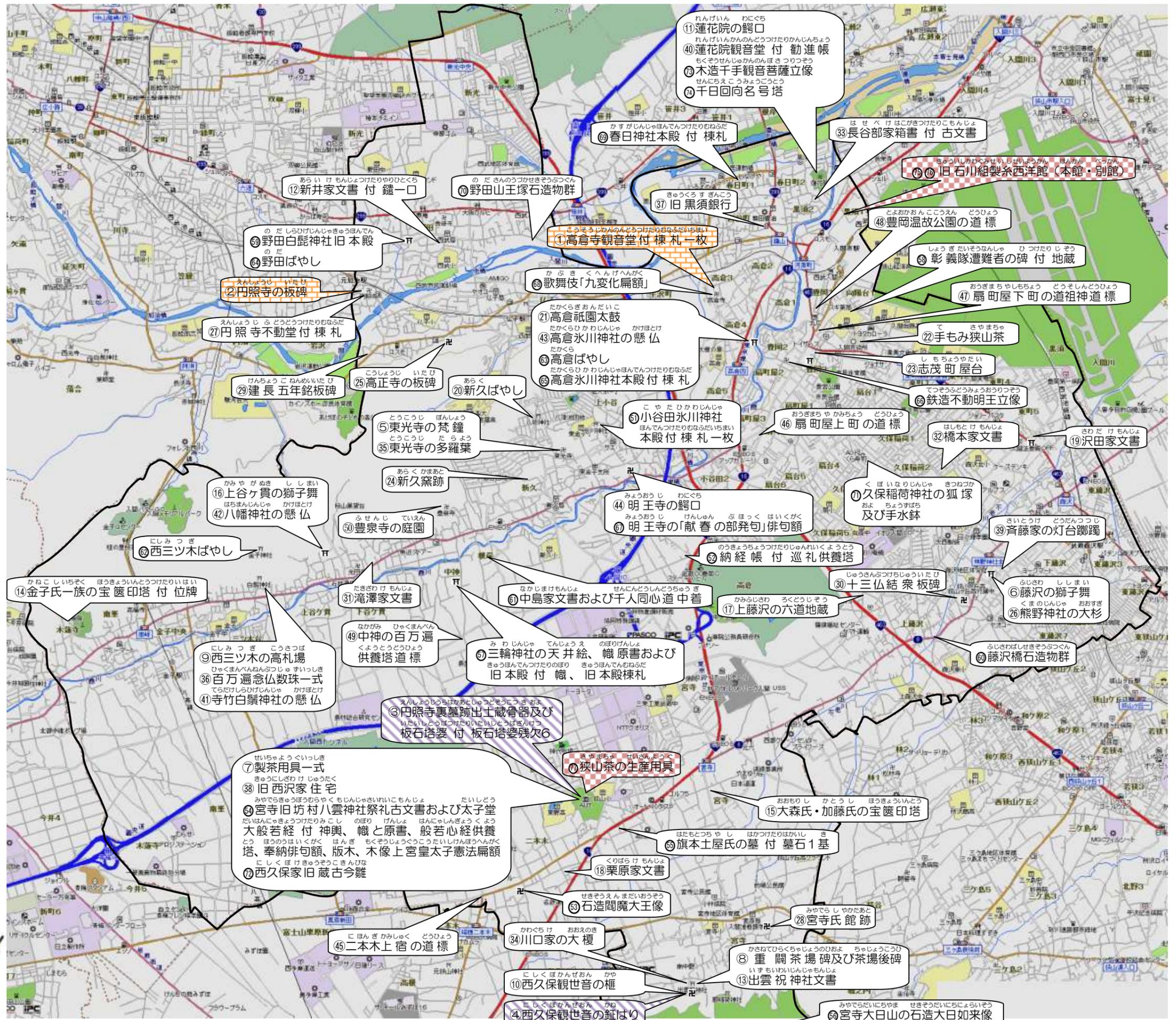
くにしていじゅうようぶんかざい 国指定重要文化財

さいたまけんしていぶんかざい 埼玉県指定文化財

いるまししていぶんかざい 入間市指定文化財

くにとうろくけいぶんかざい 国登録有形文化財

ぶんかざい よ かた いちぶ
文化財の読み方は、一部はつき
りしない所があります。
つれたり およ
「付」は「及び」の意味です。
ぶんかざい いちぶ
文化財のうち一部は、「いる
ま・こども郷土資料」の中で詳
しく説明しています。



12 新井家文書 付 鐘一口

17 野田山王塚石造物群

11 蓮花院の鯿口
40 蓮花院観音堂 付 勸進帳
13 木造千手観音菩薩立像
14 千日回向名号塔

19 春日神社本殿 付 棟札

33 長谷部家箱書 付 古文書

15 16 旧石川組製糸西洋館 (本館・別館)

48 豊岡温故公園の道標

35 彰義隊遭難者の碑 付 地蔵

47 扇町屋下町の道祖神道標

19 野田白鬚神社旧本殿
14 野田ばやし

1 高倉寺観音堂 付 棟札一枚

2 円照寺の板碑

36 歌舞伎「九変化扁額」

27 円照寺不動堂 付 棟札

21 高倉祇園太鼓
43 高倉氷川神社の懸仏
38 高倉ばやし
6 高倉氷川神社本殿 付 棟札

22 手もみ狭山茶

23 志茂町屋台

60 鉄造不動明王立像

25 高正寺の板碑

20 新久ばやし

5 東光寺の梵鐘
39 東光寺の多羅葉

5 小谷田氷川神社
本殿 付 棟札一枚

46 扇町屋上町の道標

32 橋本家文書

19 沢田家文書

24 新久窯跡

44 明王寺の鯿口

17 久保稻荷神社の狐塚
及び手水鉢

39 齊藤家の灯台躰

16 上谷ヶ貫の獅子舞
42 八幡神社の懸仏

31 豊泉寺の庭園

6 明王寺の「猷春の部発句」俳句額

30 十三仏結衆板碑

6 藤沢の獅子舞
26 熊野神社の大杉

28 西三ツ木ばやし

31 滝澤家文書

11 中島家文書および千人同心道中着

17 上藤沢の六道地蔵

14 金子氏一族の宝篋印塔 付 位牌

49 中神の百万遍
供養塔道標

7 三輪神社の天井絵、織原書および
旧本殿 付 幟、旧本殿棟札

30 十三仏結衆板碑

6 藤沢橋石造物群

9 西三ツ木の高礼場
36 百万遍念仏数珠一式
41 寺竹白鬚神社の懸仏

3 円照寺裏墓跡出土蔵骨器及び
板石塔婆 付 板石塔婆残欠6

17 狭山茶の生産用具

15 大森氏・加藤氏の宝篋印塔

7 製茶用具一式
38 旧西沢家住宅

14 宮寺旧坊村八雲神社祭礼古文書および太子堂
大般若経 付 神輿、幟と原書、般若心経供養
塔、奉納俳句額、版木、木像上宮皇太子憲法扁額
17 西久保家旧蔵古今雜

15 旗本土屋氏の墓 付 墓石1基

18 栗原家文書

28 宮寺氏館跡

7 製茶用具一式
38 旧西沢家住宅

45 二本木上宿の道標

34 川口家の大榎

10 西久保観世音の櫃

8 重 蘭茶 場 碑 及び 茶 場 後 碑
13 出雲 祝 神 社 文 書

4 西久保観世音の鉦はり

6 宮寺大日山の石造大日如来像



どんなところ？ぼくのまち

No.2 入間市の地名(1)

— 地名の由来 —

いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりょく いるましはくぶつかん
協力・入間市博物館

入間 (いるま)



市の名前としての「入間」は、市制施行にあたって、一般公募により決められたもの。名前の由来は、昔から、越辺川と多摩丘陵に挟まれた、この辺りのことを「入間郡」と呼んでいたことによる。(記録としては「続日本紀」にみることができます)

「入間」の意味は、

①地形から来たものといわれる。

谷の奥の狭間という意味。「さいたまの地名」より

②「間に入ること」を意味する。

高麗本郷の中央に割りこんでいたから。「日本地名ルーツ辞典」より

③アイヌ語で「熊の道」という意味だという。「さいたまの地名」より

など、いろいろな説があります。

ほんとう
どれが本当かな？



金子

鍛冶屋やたたら師などの金工が多く住んでいたため、その「金工」がなまって「金子」になったという。(入間市史・さいたまの地名)より

黒須

- ① 黒洲のあて字。入間川を遠望した印象からつけられたという説。(埼玉県地名誌)
- ② この場所で入間川が大きく曲がっているため、「くるり(罫)」あるいは、「くるわ(曲輪・郭)」などの半円形の屈曲をしめす用語から派生したという説。(黒須地誌)
- ③ 「畔」の意味で、「畔洲」を「黒須」の文字にあてはめたという説。(豊岡町史)

駒形富士山

駒形村 村の鎮守の「駒形明神」によるという。(新編武蔵風土記稿)

富士山村 かつてここに「富士浅間神社」があったことによるという。(合併史)

この2つの村が合併した際にできた地名。

善蔵新田

享保年間

(1716-1736)に、扇町屋村の名主、粕谷善蔵らが中心となって、この土地を開発したことによるという。

高根

- ① 鎮守「高根明神」をまつっていたことによるという説。(新編武蔵風土記稿)
- ② 土地の高い、山の根に位置していることによるという説。(武蔵野歴史地理)

五十音順に並んでいます！

新久

地名において「新久」は新開墾地の意味なので、ここも新田開発にちなんで付けられたものと思われる。

※嘉名…良い名前・立派な

名前のこと。



扇町屋

① 愛宕神社の御神体が五本骨の扇であることによるという説。(新編武蔵風土記稿)

② 町の形が扇形であることによるという説。(愛宕神社縁起)

③ 町の前途を祝した嘉名※であるという説。町が末広がりに栄えていくことを祈って「扇」の字をつけた。

「さいたまの地名」より

高倉

① 渡来人にちなむもので、「高倉」は「高麗」の音を国語化して呼んだものという説。(埼玉県地名誌)

② 言い伝えによると、ここに昔、「高倉御所」というものがあつたことによるという説。(豊岡町史)

豊岡

明治22年、黒須・高倉・扇町屋・善蔵新田の4ヶ村が合併して、町となったとき、新しい町の将来を祝福するための嘉名として名付けられたものであるという。(豊岡町史)

中神

この地区にある三輪神社の祭神、国津神を社伝の中で「中神」と称していたことによるという。(埼玉県地名誌)



の だ 野 田

むさししちとう ひと たんとう の だ し
武蔵七党の一つ、丹党の野田氏
が開拓したことによるという。
(郷土紹介)

はな き 花 ノ 木

「ハナノキ(花木)」「カエデ科の
落葉高木、「ハナカエデ」ともい
う。)が、この地にあったことによ
るという。
(埼玉県地名誌)

ぶ し 仏 子

- ①「フジ」とは、多く、小さな
平地や河岸段丘、谷頭、鈍
頂の山などにみられる地名
なので、地形によるものであ
るといふ説。(埼玉県地名誌)
- ②昔、ここに「仏師」が住ん
でいて、それが元になったと
いう説。
(武蔵野歴史地理)
- ③昔、ここに「武士」が住ん
でいて、それが元になったと
いう説。(入間郡誌)

に ほん ぎ 二 本 木

むかし ほん えのき たいぼく
昔、ここに2本の榎の大木があり、
「二本榎」と呼んでいたものが、後に
「二本木」となったという。
(新編武蔵風土記稿)

ふ じ さ わ 藤 沢

としとらすがわりゆういき しょくぶつ おお
不老川流域に、クズやフジの植物が、多
く自生していることに由来するという。
(藤沢郷土資料)

げんざい としとらすがわ じょうりゆうちいき かみふじさわ
現在は、不老川の上流地域が上藤沢、
かりゆうちいき しもふじさわ はやしがわちいき ひがしふじさわ
下流地域が下藤沢、林川地域が東藤沢に
なっています。



み な み み ね 南 峯

しんべんむさしふうどきこう こまぐん
「新編武蔵風土記稿」によると、高麗郡、
あすむら げんざい はんのうしあす ほう のぞ
阿須村(現在の飯能市阿須)の方より望む
と、山続の内に嶺の如く見えるところから
「峯村」といったという。それが高麗郡
みねむら げんざい さかとし どうめい
峯村(現在の坂戸市)と同名であることか
ら、「南」の字をつけて「南峯村」とし
たという。
(南峯村地誌)

み や で ら 宮 寺

- ①「宮」と「寺」の文字から考えて、矢寺の西勝院と西久保の寄木宮(出雲祝神社)
が、この地にあったことからついた地名であるという説。(武蔵野話による説)
- ②西勝院が寄木宮の神宮寺(神社に付属してたてられた寺のこと)であると考え、
「神宮寺」が略されて「宮寺」になったという説。(入間郡誌による説)
- ③狭山丘陵の平坦地に宮があったため「宮平」と称したものが、変化して「宮寺」
になったという説。

①②③ともに「埼玉県地名誌」より

も くれ ん じ 木 蓮 寺

かまくら ぶ し かね こじゅうろういえただ つま おくりな もくれんいん
鎌倉武士、金子十郎家忠の妻の諡※「木蓮院」
あるいは「木蓮寺殿」にちなんで、この地にある
曹洞宗瑞泉寺を「木蓮院」、「木蓮寺」と呼んだ
ことから、それが村の名前になったという。
(新編武蔵風土記稿)

※ 諡…死んでからおくる呼び名のこと。

地名には
いろいろな歴史が
かくれているんだね



さんこうしりょう 参 考 資 料

かどかわにっぽんちめいだいじてん さいたまけん かどかわしょてん
「角川日本地名大辞典⑪埼玉県」角川書店
にっぽんちめい じてん そうたくしゃ
「日本地名ルーツ辞典」創拓社
「さいたまの地名」埼玉県
さいたまけんちめいし にらつかひとさぶろうちよ ぼくしんとしょ
「埼玉県地名誌」荑塚一三郎著 北辰図書
ちめいごげんじてん やまなかじょうたぢよ あげくらしょぼう
「地名語源辞典」山中襄太著 校倉書房
しんべんむさしふうどきこう ゆうざんかくしゅつばん
「新編武蔵風土記稿」雄山閣出版
むさしのれきしちり たかはしげんいちろうへん ありみねしょてん
「武蔵野歴史地理」高橋源一郎編 有峰書店

本文中に、出典が「」で示
されていないものは、すべて
「角川地名大辞典」の内容を
抄録(抜き書き)したもので
す。興味をもった人は、ぜひ
一度見てみてください。



どんなところ？ぼくのまち

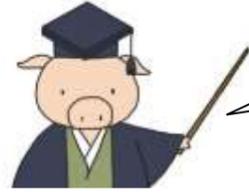
No. 3 入間市の地名 (2)

町や村の名前のうつりかわり

これは、現在の入間市の地図です。きみのすんでいるところは、どこですか？



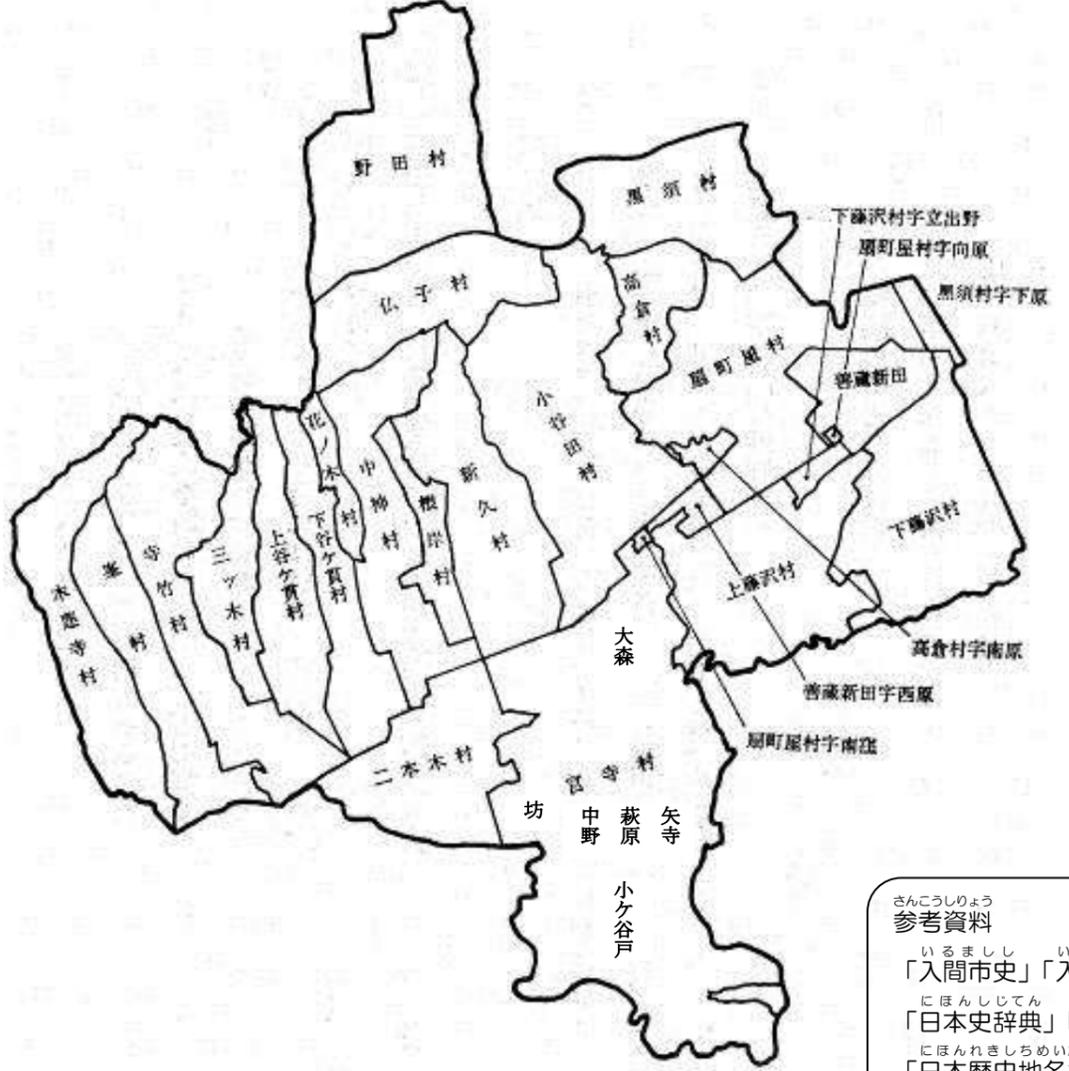
いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりょく いるましはくぶつかん
協力・入間市博物館



いるまし ちめい
入間市の地名はどのようにかわっていったのでしょうか？
つぎ ひょう
(次のページで表にしてみました。)

した ちす ばしよ
下の地図は、おなじ場所
のむかしの地図です。
まだ、入間市はなくて、
たくさんの小さな村に
わかれていました。

めいじじだい げんざい ちほうじち す ひと
明治時代から現在までのあいだ、地方自治（そこに住んでいる人たちが、自分たちの手で町づくりをすること）をすすめるために、いろいろな制度や法律ができました。
このように、国の制度や法律が変わることによって、わたしたちの住む町や村のかたちもだんだんかわっていったのです。
※宮寺村の旧村の村境と、藤沢村のこまかい上・中・下の村境については、現在よくわかっていません。



さんこうしりょう
参考資料
「入間市史」「入間市のあゆみ」
「日本史辞典」「國史大辞典」
「日本歴史地名大系①埼玉県
の地名」

えどじだい めいじ ねん ちす いるましし みんそくぶんかさいへん さんこう
江戸時代～明治21年の地図 (「入間市史・民俗文化財編」 参考)

ひょう 表にある「武蔵田園簿」「武蔵国郷帳」とは、 むさしでんえんぼ 武蔵田園簿 むさしのくにこうちょう 武蔵国郷帳 ねんぐ 年貢を ちようしゅう 徴収 むら するために村ごとにつくられた基礎台帳のことです。 きそだいちょう 基礎台帳				にほんれきしちめいたいけい 日本歴史地名体系⑪埼玉県の地名」 さいだまけん さいたま県 ちめい 地名 かひつ に加筆しました。					
むさしでんえんぼ 武蔵田園簿 けいあん 慶安2～3年 (1649～50年)	むさしのくにこうちょう 武蔵国郷帳 [元禄郷帳] げんろく 元禄12年 (1699年)	むさしのくにこうちょう 武蔵国郷帳 [天保郷帳] てんぽう 天保5年 (1834年)	だいくしょうせい 大区小区制 めいじ 明治5～11年 (1872～1878年)	ちほうぎょうせい 地方行政区画便覧 めいじ 明治19年 (1886年)	しちょうせいしこう 市町村制施行 による町村名 めいじ 明治22年 (1889年)	ちようそんがっぺいそくしんほう 町村合併促進法 公布当時の町村名 しょうわ 昭和28年 (1953年)	ちようそんがっぺいそくしんほう 町村合併促進法 合併後の町村名 しょうわ 昭和31年 (1956年)	しせいしこう 市制施行 しょうわ 昭和41年 (1966年)	
えどじだい 江戸時代(前期)	えどじだい 江戸時代(中期)	えどじだい 江戸時代(後期)	めいじ 明治		たいしょう 大正	しょうわ 昭和			
おうぎまちやむら 扇子町屋村	おうぎまちやむら 扇町谷村	おうぎまちやむら 扇町屋村 おうぎまちやしんでん 扇町屋新田	だい 第3大区 だい 第4小区	おうぎまちやむら 扇町屋村					
くろすむら 黒須村	くろすむら 黒須村	くろすむら 黒須村		くろすむら 黒須村	とよおかまち 豊岡町	とよおかまち 豊岡町		とよおかちく 豊岡地区	
たかくらむら 高倉村	たかくらむら 高倉村	たかくらむら 高倉村 ぜんぞうしんでん 善蔵新田		たかくらむら 高倉村	ぜんぞうしんでん 善蔵新田				
ふじさわむら 藤沢村	ふじさわむら 藤沢村	ふじさわむら 藤沢村	だい 第3大区 だい 第5小区	かみふじさわむら 上藤沢村 しもふじさわむら 下藤沢村	ふじさわむら 藤沢村	ふじさわむら 藤沢村	ふじさわむら 藤沢村	ふじさわちく 藤沢地区	
みやでらまち 宮寺町	みやでらおおもりしんでんむら 宮寺大森新田村	みやでらおぎわらむら 宮寺荻原村	だい 第3大区 だい 第3小区	みやでらむら ※宮寺村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村	みやでら 宮寺・二本木地区	
	みやでらおぎわらむら 宮寺荻原村	みやでらやでらむら 宮寺矢寺村		みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村		
	みやでらやでらむら 宮寺矢寺村	みやでらこがやとむら 宮寺小谷戸村		みやでらこがやとむら 宮寺小谷戸村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村		みやでらむら 宮寺村
	みやでらこがやとむら 宮寺小谷戸村	みやでらなかのむら 宮寺中野村		みやでらなかのむら 宮寺中野村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村		みやでらむら 宮寺村
	みやでらなかのむら 宮寺中野村	みやのしんでん 宮野新田		みやのしんでん 宮野新田	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村		みやでらむら 宮寺村
	みやでらしんでん 宮寺新田	みやでらしんでん 宮寺新田		みやでらしんでん 宮寺新田	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村		みやでらむら 宮寺村
	みやでらぼうむら 宮寺坊村	みやでらぼうむら 宮寺坊村		みやでらぼうむら 宮寺坊村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村		みやでらむら 宮寺村
みやでらほんぎむら 宮寺二本木村	みやでらほんぎむら 宮寺二本木村	みやでらほんぎむら 宮寺二本木村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村	みやでらむら 宮寺村	みやでら 宮寺・二本木地区		
こやたむら 小谷田村	こやたむら 小谷田村	こやたむら 小谷田村 こやたむさしのしんでん 小谷田武蔵野新田	だい 第3大区 だい 第4小区	こやたむら 小谷田村	ひがしかねこむら 東金子村	ひがしかねこむら 東金子村	ひがしかねこむら 東金子村	ひがしかねちく 東金子地区	
あらくむら 新久村	あらくむら 新久村	あらくむら 新久村		あらくむら 新久村	あらくむら 新久村	あらくむら 新久村	あらくむら 新久村	あらくむら 新久村	
かみねぎしむらこやうち 上根岸村小谷内	こやたむら 小谷田村	こやたしんでん 小谷田新田 ねぎしにった こやたしんでん 根岸新田・小谷田新田	だい 第3大区 だい 第4小区	ねぎしむら 根岸村	ひがしかねこむら 東金子村	ひがしかねこむら 東金子村	ひがしかねこむら 東金子村	みやでら 武蔵町	
なかがみむら 中神村	なかがみむら 中神村	なかがみむら 中神村		なかがみむら 中神村	なかがみむら 中神村	なかがみむら 中神村	なかがみむら 中神村		なかがみむら 中神村
はなのきむら 花ノ木村	はなのきむら 花ノ木村	はなのきむら 花ノ木村		はなのきむら 花ノ木村	はなのきむら 花ノ木村	はなのきむら 花ノ木村	はなのきむら 花ノ木村		はなのきむら 花ノ木村
やがぬきむら 谷ヶ貫村	しちやがぬきむら 下谷ヶ貫村 かみやがぬきむら 上谷ヶ貫村	しちやがぬきむら 下谷ヶ貫村 かみやがぬきむら 上谷ヶ貫村		しちやがぬきむら 下谷ヶ貫村	しちやがぬきむら 下谷ヶ貫村	しちやがぬきむら 下谷ヶ貫村	しちやがぬきむら 下谷ヶ貫村		しちやがぬきむら 下谷ヶ貫村
みつぎむら 三ツ木村	みつぎむら 三ツ木村	みつぎむら 三ツ木村		みつぎむら 三ツ木村	みつぎむら 三ツ木村	みつぎむら 三ツ木村	みつぎむら 三ツ木村		みつぎむら 三ツ木村
てらだけむら 寺竹村	てらだけむら 寺竹村	てらだけむら 寺竹村		てらだけむら 寺竹村	てらだけむら 寺竹村	てらだけむら 寺竹村	てらだけむら 寺竹村		てらだけむら 寺竹村
みねむら 峰村	みねむら 峯村	みねむら 峯村		みねむら 南峯村	みねむら 南峯村	みねむら 南峯村	みねむら 南峯村		みねむら 南峯村
もくれんしむら 木蓮寺村	もくれんしむら 木蓮寺村	もくれんしむら 木蓮寺村		もくれんしむら 木蓮寺村	もくれんしむら 木蓮寺村	もくれんしむら 木蓮寺村	もくれんしむら 木蓮寺村		もくれんしむら 木蓮寺村
ふしむら 仏子村	ふしむら 仏子村	ふしむら 仏子村		ふしむら 仏子村	ふしむら 仏子村	ふしむら 仏子村	ふしむら 仏子村		ふしむら 仏子村
のだむら 野田村	のだむら 野田村	のだむら 野田村		のだむら 野田村	のだむら 野田村	のだむら 野田村	のだむら 野田村		のだむら 野田村
いりまぐん 入間郡	いりまぐん 入間郡	いりまぐん 入間郡	いりまけん 入間県	いりまぐん 入間郡	いりまぐん 入間郡	いりまぐん 入間郡	いりまぐん 入間郡	いりまし 入間市	

もときやまむら ※元狭山村は、
しょうわ 昭和33年に
むさしまち 武蔵町に合併

しょうわ 昭和29年

※のところは、
いま ほか 今では他の市や
まち 町になっている
ところを 含んで
います。

せいふまち 西武町は、
しょうわ 昭和42年に
いりまし 入間市に合併

どんなところ？ぼくのまち

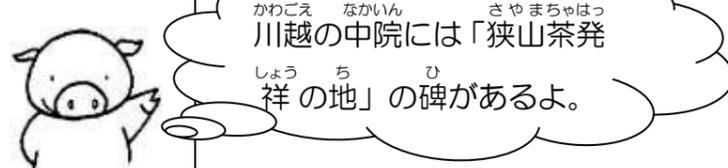
No. 4 狭山茶のはなし(1)

—— 狭山茶の歴史 ——



いるましりつとしゃかん
— 入間市立図書館 —
きょうりょく いるまはくぶつかん
協力・入間市博物館

ねん年	じこう事項	せつめいくわしい説明
ねん紀元前 2737年	このころすでに、中国でお茶の木が発見されていたことが記録に残っている。	お茶の木の原産地は、中国雲南省、チベット、ミャンマーあたりといわれている。
ねんだい700年代～ ねんだい800年代	このころ、中国から日本にお茶が伝わります。	お茶は仏教と関係が深く、当時の中国(唐)へ留学した遣唐使のお坊さんたちが茶をもち帰ったといわれている。のみ方は、沸騰したお湯の中で煮出す「煎じ茶」だった。
ねん1211年 じょうげん(承元5年)	栄西禅師が日本で最初の茶書(お茶の本)とされる『喫茶養生記』を書く。	栄西禅師は『喫茶養生記』の中で茶の効用を紹介し、また、当時の中国(宋)で飲まれていた抹茶の製法や飲み方を紹介した。
ねん1356年～ ねん1375年	このころ書かれた『異制庭訓往来』には、全国の銘茶の産地のひとつとして、「武蔵河越」があげられている。 (※「武蔵河越」地方ということで、埼玉県南西部のこのあたりです でに茶の栽培が行われていたことがわかる。)	あげられている銘茶の産地は、現在の京都府に6ヶ所、奈良県2ヶ所、三重県2ヶ所、静岡県1ヶ所、埼玉県1ヶ所の、計12ヶ所。いずれも当時の有力なお寺のあった場所で、お茶は、おもにお寺で栽培されていた。
		河越茶の栽培がはじまった時期は、 ①平安時代に、川越の中院・喜多院の前身である無量寿寺が、開かれたときにはじまった。 ②平安時代から南北朝時代にかけて栄えていた武蔵武士の河越氏をとおしてはじまった。 などの説があります。



ねん1507年	このころ書かれた『旅宿問答』には、全国の銘茶の産地のひとつとして、「武蔵の慈光茶」があげられている。 (※埼玉県ときがわ町にある慈光寺で作られたお茶と考えられている。)	慈光茶の栽培は、 ①平安時代に、茶を儀式に使う天台宗が慈光寺に伝えられ、茶の栽培がはじまった。 ②鎌倉時代に、栄西禅師の弟子の栄朝が慈光寺の住職となった時に、抹茶の飲み方が伝わり、茶の栽培がさらに盛んになった。 と考えられています。
せんごくじだいい戦国時代	戦乱で、茶園を管理するお寺が荒れ、河越茶や慈光茶の生産は途絶えてしまった。	川越の無量寿寺や、ときがわの慈光寺が、戦国時代に焼き討ちにあって衰退したため、茶の栽培もすたれてしまったと考えられます。
ねん1738年 げんぶん(元文3年)	京都の宇治で、茶師永谷宗円により、「煎茶」の製法が考案される。 宋の抹茶製法 } の2つを組み合わせ 明の釜炒り製法 } たもの。	社会背景として、このころには経済的にゆたかな商人の文化がさかんになり、人々の生活にも茶をのむようなゆとりがうまれていた。
ねん1802年 きょうわ(享和2年)	狭山丘陵において、吉川温茶(二本木村西久保)と村野盛政(宮寺坊村)は、とだえていた河越茶を復活させようと、茶の栽培と製造にとりくみはじめる。	吉川温茶は、1814年(文化11年)伊勢まいりのついでに、宇治などの茶の産地をたずね、お茶の製法を学んだ。
ねん1819年 ぶんせい(文政2年)	吉川温茶と村野盛政は、江戸の茶商山本嘉兵衛(徳潤)らと販売する契約をむすび、狭山茶は江戸で売られるようになる。	吉川家と村野家を作った茶は、山本山では、宇治茶(高級茶とされる)とおなじように扱われた。 また、このころ、狭山丘陵・加治丘陵の村々では茶の栽培がさかんになった。

江戸時代末期
～
明治時代

1875年
(明治8年)

1883年
(明治16年)

1884年
(明治17年)

1898年
(明治31年)

江戸幕府が鎖国をとき、外国との貿易がはじまると、茶は生糸とともに日本の重要な輸出品となる。

狭山茶は貿易港、横浜に近いことからアメリカにむけて輸出されるようになった。狭山茶は味が良く色も特に澄んでいたの、「水澄みの茶」とよばれ、外国人に好評だった。

狭山茶の生産者と茶商により、黒須に、「狭山会社」が設立される。

狭山会社の経営は、困難も多く、この年は会社は解散する。

このころから、アメリカでの人気も、茶からコーヒーにうつったこともあり、輸出量は減少していく。

狭山茶の出荷先は、だんだん国内市場へうつっていった。

「狭山元山茶業組合」が結成される。

より品質の良いお茶をつくろうという動きがおこってきた。

高林謙三が茶葉粗揉機を発明し、特許をとる。



1868年(明治元年)の日本から輸出した品物

生糸43%	茶 24%
-------	-------

(輸出品の第2位となっている)

狭山茶は、八王子経由で横浜に送られたので、横浜の商人たちからは「八茶」とよばれていた。

茶の輸出品がふえるにしたがい、質の悪いお茶がでまわるようになり、外国での評判が悪くなってきた。流通ルートのとちゅうで粗悪茶をまぜられないように直接外国で狭山茶を販売するために、「狭山会社」がつけられた。

狭山茶の名まえの由来は？

狭山会社がとりあつかったお茶であることから、「狭山茶」という名が定着した、とされています。

(「茶の歴史」大護八郎著より)

私立の製茶伝習所も各地につくられた。

(1893年黒須の繁田家など)

狭山茶業界は、以前、機械製の茶を不良品とされた苦い経験から機械化には慎重な立場

製茶にかかる費用を安くするため、製茶の機械化を考へる人たちもあらわれた。

1928年(昭和3年)

県立茶業研究所が豊岡に設立される。

第二次世界大戦

戦争中は、食糧増産優先の国家政策により、茶畑は農作物の栽培にかえられ、また茶業者の徴兵により人手不足となり、茶業は大打撃をうけた。

1947年(昭和22年)

「狭山茶振興5ヶ年計画」の実施。

1950年(昭和25年)

「埼玉県茶業協会」の設立。

1995年(平成7年)

全国のお茶の生産において埼玉県は、

- 茶栽培面積 第5位
- 荒茶生産量 第10位

を占め、お茶は埼玉県の特産品の一つとなっている。

参考資料

「改訂版 狭山茶の歴史と現在」(入間市博物館)

「入間市史・民俗文化財編」「お茶と日本人」「茶の生い立ちと狭山茶のこと」(入間市刊)

「茶の歴史」(大護八郎著)「狭山茶業史」(埼玉県茶業協会)

「狭山茶史考」(中島幸太郎著)「狭山茶業史実録」(正・続)(吉川忠八著)

をとった。そのため機械導入に積極的だった静岡県などに比べて技術的に遅れをとってしまった。

手揉み製茶に劣らない、機械製のお茶づくりをめざして技術の研究を行った。

県立茶業研究所は、昭和25年に「農業試験場茶業支場」、昭和46年に「茶業試験場」、平成22年に埼玉県農林総合研究センター茶業研究所と名前がかわりました。

昭和21年には、茶畑は戦前の3分の2にまで減少してしまっした。

戦後、ふたたび茶業をたてなおすため、このような施策をいちやく行った。

これにより、昭和24年には茶畑もほぼ戦前の面積にもどり、昭和30年ごろから生産量も大きく伸びはじめた。

茶栽培面積 1750ヘクタール

荒茶生産量 1400トン

狭山茶は入間市の特産品にもなっているよ。



いるま・こども郷土資料



いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりよく いる ましはくぶつかん
協力・入間市博物館

どんなところ？ぼくのまち

No. 5 狭山茶のはなし(2)

——お茶をつくった人たち——

さいちょう でんぎょうだいし 最澄(伝教大師) [767-822]

てんだいしゅう かいそ ねん えんりやく ねん けんとうし とう ちゅうごく わた てんだいしゅう まな よく
天台宗の開祖。804年(延暦23年)に遣唐使として唐(中国)に渡り、天台宗を学んで翌
としきこく ひえいざん きょうとふ し がけんざかい えんりやくし ひら ひえいざん ひよしちやえん し がけんお
年帰国した。比叡山(京都府・滋賀県境)に延暦寺を開き、比叡山のふもとの日吉茶園(滋賀県大
つし ちや さいばい ねん こうにん ねん がつ たち こうかい こうぼうだいし ちや やく
津市)で茶を栽培したとされる。816年(弘仁7年)5月1日に、空海(弘法大師)へお茶を約6
おく とう つた ちや ふっとう ゆ なか にだ せん ちや にだ ちや
kg贈っている。唐から伝わったお茶は、沸騰した湯の中で煮出す「煎じ茶」(煮出し茶)だった。

えんにん じかくだいし 円仁(慈覚大師) [794-864]

てんだいしゅう そうりよ さいちょう でし ねん てんちやう ねん むりやうじゆし かわごえし こせんばちやう げんざい なか
天台宗の僧侶で、最澄の弟子。830年(天長7年)に無量寿寺(川越市小仙波町。現在の中
いん きたいん ぜんしん ひら ねん じやうわ ねん けんとうし とう ちゅうごく
院・喜多院の前身にあたる)を開いたとされる。838年(承和5年)に遣唐使として唐(中国)
わた てんだいみつきやう まな ねん じやうわ ねん きこく ねん にんじゆ ねん ひえいざんえん
に渡り、天台密教を学んで847年(承和14年)に帰国した。854年(仁寿4年)に比叡山延
りやくし たい せいじゅうしよく てんだいざす
暦寺の第3世住職(天台座主)となる。

ようさい みんなんようさい 栄西(明庵栄西) [1141-1215]

りんざいしゅう かいそ よ げんざい おかやまけん ち う ひえいざん
臨済宗の開祖。「えいさい」とも呼ぶ。現在の岡山県の地に生まれ、比叡山
えんりやくし てんだいしゅう べんきやう のち そう ちゅうごく わた ぜんしゅう りんざいしゅう
延暦寺などで天台宗の勉強をした後、宋(中国)に渡り、禅宗(臨済宗)
まな きこく そう ちゅうごく まっちや ちしき え ねん「きっさ
を学んで帰国した。宋(中国)で抹茶についての知識を得て、1211年『喫茶
ようじやうき しょもつ か ちや こうよう まっちや せいほう の かた する
養生記』という書物を書き、そこに茶の効用や、抹茶の製法・飲み方を記してい
る。1214年(健保2年)、二日酔いに苦しむ鎌倉幕府の将軍・源実朝に抹
ちや た さ あ
茶を点てて差し上げている。



えいちやう 栄朝 [1165-1247]

てんだいしゅう りんざいしゅう そう ようさい でし と きさん じこうじ まちにしだいら
天台宗・臨済宗の僧で、栄西の弟子。都幾山慈光寺(ときがわ町西平)
じゅうしよく つと ねん けんきゅう8ねん じこうじさんない りやうぜんいん まち
の住職を務め、1197年(建久8年)に慈光寺山内に霊山院(ときがわ町
にしだいら ひら ねん じやうきゅう ねん ちやうらくし ぐんまけんおたし ひら
西平)を開く。1221年(承久3年)に、長楽寺(群馬県太田市)を開
き、そこに移る。栄朝の弟子には、円爾(円爾弁円・聖一国師)がおり、円
に しずおかちや さいばい ほん ひと
爾は静岡茶の栽培を始めた人とされている。



よしかわよしずみ ちゅうはち 吉川温恭(忠八) [1767-1846]

みやでら にしくぼむら なぬし よしかわほん えもん ごなん う すながわむら
宮寺の西久保村の名主、吉川半右衛門の五男に生まれる。砂川村
げんざい たちかわし だいく とうりやう でし い みやだいく
(現在の立川市)の大工の棟梁のもとに弟子入りして宮大工と
なり、1807年(文化4年)には、烏帽子、狩衣という宮大工の
ねん ぶんか ねん えぼし かりぎぬ みやだいく
正装の着用を許されている。



よしかわよしずみ さやまきゅうりやう ちや さいばい ふっこう つぎ い つた
吉川温恭による、狭山丘陵での茶の栽培の復興については、次のように言い伝えられている。

よしかわよしずみ みやだいく のうぎやう いたな
吉川温恭は宮大工のかたわら農業を営んでいた。

1802年(享和2年)の夏、稲荷沢で畑に出ていてにわか雨にあい、雨やどりをしていた時に茶の
しんめ み しんめ かえ き おほ ほうほう ちや つく の ちや
新芽を見つけた。その新芽をもち帰り、聞き覚えていた方法で茶を作って飲んでみたところ、お茶と
つうやう ゆうじん むらのもりまさ ふたり ほんかくてき ちや さいばい
して通用することがわかった。そこで、友人の村野盛政と二人で、本格的に茶の栽培にとりかかった
という。

1807年(文化4年)には、伊勢参りの途中、上方で、宇治茶の製法を学んで製茶の研究にあたり、
えど ちやしょうにん やまもとかへえ とくじゆん けいやく ちや ほんろ ひろ よしかわけ ちや あすまの
また江戸の茶商人、山本嘉兵衛(徳潤)らと契約して茶の販路を広めた。吉川家の茶は「東野」・
あづまの めいちゃ うじちゃ とひひ こうひやう え
「吾妻野」という銘茶で、宇治茶なみに取り引きされて好評を得たという。

また、地元宮寺においても、茶の栽培の奨励につとめたので、この地方で茶の栽培が急速に広まった。

そのため「重関茶場碑」(出雲祝神社境内)には、「狭山茶再興の功労者」三人のうちのひとりとして名をあげている。

むらのもりまさ やしち
村野盛政（弥七） [1764-1819]

いるまくんぼらむら げんざい どうきょうとにしたまくんみすほまち ひと
入間郡坊村（現在 東京都西多摩郡瑞穂町）の人。

おの はいつとうりゅう こうげんいつとうりゅう けんどうしはん はいじん し はいごう ひょうし さどう きょうよう
小野派一刀流・甲源一刀流の剣道師範で、俳人としても知られ（俳号は「瓢志」）、茶道の教養も
ふか
深かった。

かんせいねんかん ねん ねん あいだ ちゃ さいばい ご ゆうじん よしかわよしずみ
寛政年間（1789年から1801年の間）から茶の栽培をしていたが、その後、友人の吉川温恭
きょうりよく さやまちゃ
と協力して狭山茶をおこした。

かさねてひらくちゃじょうのひ よしかわよしずみ やまもと か え さやまちゃさいこう こうろうしゃ
そのため、「重 関 茶 場 碑」には、吉川温恭・山本嘉兵衛とともに、「狭山茶再興の功労者」とし
てあげられている。

じせい ちゃ え ど はいかいし りゅうりんあんよしだこくほ おく こくほ わかくさ きみ うめ
自製の茶を江戸の俳諧師、柳 隣庵吉田国甫に贈ったところ、国甫はこれをほめ、「若草」、「君が梅」
な ちゃめい おく
の名（茶銘）を贈った。

むらのけ え ど ちゃしょうやまもとやま う だ よしかわけ ちゃ こうひょう え
村野家でも、これを江戸の茶商山本山などへ売り出し、吉川家の茶とともに好評を得た。

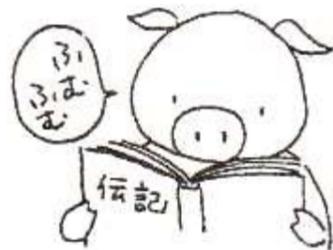


かさねてひらくちゃじょうのひ いずもしゆくじんじゃ
重 関 茶 場 碑がある、出雲 祝 神社

えいが 『ほったらけの島』の舞台になり
ました。

かさねてひらくちゃじょうのひ ししていぶんかざい
重 関 茶 場 碑（市指定文化財）

みやでら いずもいわいじんじゃ けいだい
（宮寺・出雲 祝 神社 境内）



たかばやしけんぞう
高林謙三 [1832-1901]

こまくんひらさわむら げんざい ひだかし こく ぼちゆうこ こ う さい とき こんだなおすけ じゅく
高麗郡平沢村（現在、日高市）に、小久保 忠 吾の子として生まれる。16歳の時、権田直助の塾
にはいり、国学と医学を学び、さらに佐倉順天堂で外科医術を学んだ。

ねん あんせい ねん こせんばむら げんざい かわごえし いいん かいぎょう こ せい たかばやし あらた
1856年（安政3年）、小仙波村（現在、川越市）で医院を開業、その後、姓を高林と改めた。
その頃、日本は鎖国をとりて、諸外国と貿易をはじめていたが、その状 況について謙三は、「海外

からはたくさんの輸入品がはいってくるのに対し、日本からの輸出品は製糸と茶の二品だけで、その
りょう 量もわずかである。このままでは国の財政はいきづまってしまう
ころ にっぽん さこく しょうがいこく ぼうえき しょうきょう けんぞう かいがい
だろう。」と心配し、輸出のために茶業をもっと発展させようと

けんばい ゆしゆつ ちゃぎょう はってん
決意した。

ねん めいじ ねん みずか ちゃえん ぎじゆつ かいぜん
1869年（明治2年）から、自ら茶園をつくり、技術の改善
につとめたが、手間のかかる手づくりの茶の限界を感じて、製茶機

はつめい
の発明にとりくんだ。



たかばやしけんぞう さいたまけんちゃぎょうしけんしょうていきょう
高林謙三 埼玉県茶業試験場提供

ねん ほうちゃきかい ちゃ つく きかい とつきよだい ごうしゆとく
• 1885年 焙茶器械（ほうじ茶を作る機械）特許第3号取得。

なまちゃ ぼむしきかい ちゃ は きかい とつきよだい ごうしゆとく
生茶葉蒸器械（つんだ茶の葉をむす機械）特許第2号取得。

せいちゃ きかい ちゃ は だ きかい とつきよだい ごうしゆとく
製茶まさつ器械（茶の葉につやを出す機械）特許第4号取得。

ねん たかばやしきちゃばそじゅうき ちゃ おこな きかい とつきよだい ごうしゆとく
• 1898年 高林式茶葉粗揉機（茶もみを行う機械）特許第3301号取得。

はつめい しょうがい とつきよ とく じりつけんせいちゃきかい ねん せいちゃ こうてい
などを発明し、生涯に6つの特許をとった。特に、「自立軒製茶機械」（1886年、製茶のすべての工程

おこな きかい きかい ひと つか ふりょうひん あと けんぞう せいちゃ こうてい もっと たいへん
を行う機械）が機械になれない人に使いこなせず不良品とされた後、謙三は製茶の工程で最 も大変な
ちゃ きかい か なが ねんげつ しきんなん くる かんせい たかばやしきちゃばそじゅうき
茶もみの機械化にとりくんだ。長い年月をかけ、資金難に苦しみながら完成させた高林式茶葉粗揉機は、

ちゃ いのち かお あじ いろ すこ たいりょうせいさん さやまちゃ
茶の命である「香り・味・色」を少しもそこなわずに大量生産ができるものであった。しかし狭山茶
ぎょうかい ちゃ ひんしつ お おそ う い
業界は、茶の品質が落ちるのを恐れてこれを受け入れなかった。

そのため、この機械は静岡県の工 場で作られることになり、謙三も静岡へ移って、1901年（明治
34年）その地で亡くなった。

さんこうしりょう かいていばん さやまちゃ れきし げんざい いるま しはくぶつかん
参考資料 「改訂版 狭山茶の歴史と現在」（入間市博物館）

さいたまだいひゃくかしてん さいたまじんぶつしょうひゃくか もと あおきまさこちよ
「埼玉大百科事典」「埼玉人物小百科」「みどりのしずくを求めて」（青木雅子著）

たかばやしけんぞうおきな しょうがい しゅうへん もりそのいちじちよ さやまちゃしょうしじつろく よしかわちゅうはちちよ
「高林謙三翁の生涯とその周辺」（森蘭市二著）「狭山茶場史実録」（吉川忠八著）

どんなところ？ぼくのまち

No. 6 狭山茶のはなし(3)

—お茶をつくる—



いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
ぎょうりよく いるまはくぶつかん
協力・入間市博物館



お茶は、ツバキ科の常緑樹である「茶」の木がくめいかメラシアシネンシス(学名Camellia sinensis)の葉から作られます。茶の木の原産地は、中国の雲南省あたりとされ、紀元前2700年頃には、すでに発見されていたといわれます。

「茶の木」の葉から、
おいしいお茶をつくるには・・・



1. 茶の木を育てる(栽培)

良い茶の木を育てないと、良いお茶はできません。そのためには、

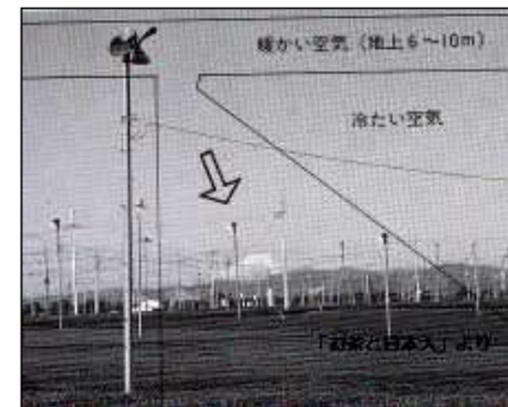
①良い品種の茶の木を植える。

茶の品種 ・「やぶきた」・・・煎茶としては最もすぐれた品種で全国の栽培面積の8割近くを占めます。埼玉県内でも生産の8割を占める。藪の北側に植えたお茶がおいしかったので、この名がつけました

・「さやまかおり」・・・昭和46年に埼玉県で育成された品種。県内で2番めに多く栽培されている。「やぶきた」より寒さに強く、早く茶をつむことができます。

・「ゆめわかば」・・・生育・収量ともやぶきた並ですが、味がよく、寒さや病気に強い、平成22年に加わった新しい品種です。

- ②一年に何回か、畑の土に肥料をやり、茶の木に十分な栄養をあたえる。
- ③虫や病気で茶の木がいたまないように、一年に何度も茶畑の消毒をする。
- ④春の低温や遅霜で新芽が枯れないように、防霜ファンをつけるなどの対策をとる。



このように育てられた茶の木から、5月と6～7月頃の2回、新芽をつみとります。(茶摘み)むかしは、全て手で摘んでいましたが、今はほとんど機械でかりとっています。それでもお茶をつくる農家ではこの時期は大いそがしです。

仕事ごよみ

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		■			■			■			
		■	■		■		■	■	■		
		■	■		■		■	■			
		■									
				■	■						

茶摘みのあと来年のためにまだまだ仕事があります。

- ・肥料やり、消毒、草とりなどをつづける。
- ・古くなった茶の木からは、良いお茶がとれなくなるため、古い木をぬいて新しい苗に植えかえたりする。

2. 積んだ茶の花から、お茶をつくる（製茶）

製茶は、昔はすべて手揉み製法でしたが、
今ではほとんど機械で行われています。



できあがったお茶は、茶箱に入れて小売店や問屋に出荷されます。
※製茶農家がお茶の栽培・製茶・販売のすべてを
行うことを、「産地直売」方式といいます。
この方式が狭山茶の特徴です。



〈参考資料〉
「入間市のお茶・狭山茶」
「お茶と日本人」
「農政課資料」

手揉み製茶



茶蒸し
摘んだ茶の葉を蒸す。
蒸しが足りないと、茶の色が赤くなり、蒸しが長すぎると、形が崩れてしまう。

葉打ち
葉を「ほいろ」に入れ、拾っては散らし、葉の表面にある水分を乾かす。

回転揉み
葉を転がして水分を出す。「ほいろ」の底は和紙で、火力は160度。

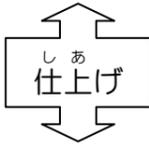
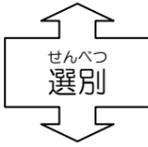
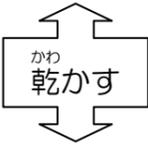
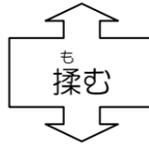
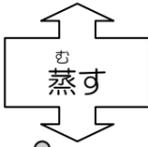
撚り切り
(揉み切り)
葉を手のひらで挟み、揉み落とす。

仕上げ揉み
(転繰り)
葉を揃えつつ回転させ、形を整えてつやを出す。

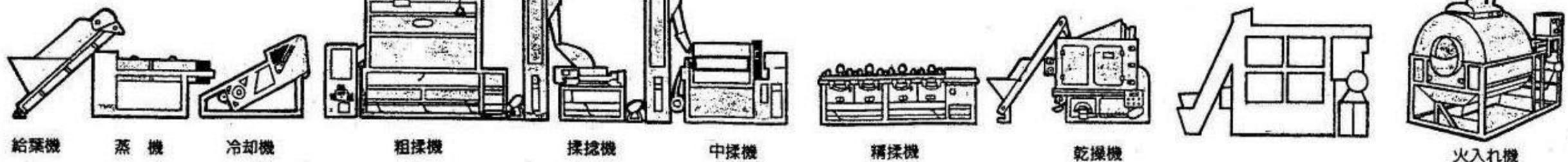
荒茶のできあがり
休みなしに4時間仕上げ揉みを行うと、細く濃緑の荒茶ができます。

再製
荒茶から、古い葉や、粉、木茎などを取り除き、大きさを揃える。
・ぬきぶるい
・まわしぶるい
・切断
・みぶき
など

火入れ
(狭山火入れ)
再製がすんだ茶を乾燥することで、長期保存ができ、また、火入れ茶独特の香りが付く。
仕上げ茶の
できあがり。



機械製茶



給葉機
集められた茶の葉を自動的に蒸機に送る。

蒸機
茶の葉を蒸気で蒸す。

冷却機
冷風または温風で、葉の表面の水分を取り除く。

粗揉機
茶の葉を熱風で揉みながら乾かす。

揉捻機
茶の葉に力を加えて水分のむらがなくなるように揉む。

中揉機
茶の葉を再び熱風で揉みながら乾かす。

精揉機
茶の葉に熱と力を加え、形を整えながら乾かす。

乾燥機
茶の葉を十分に乾かす。

仕上総合機
まだ形が大小様々なので「ふるいわけ」「切断」「木茎分離」「風撰」して形を整える。

仕上茶乾燥機 (火入れ機)
茶をさらに良く乾燥させ、火入れ茶独特の香りをつくりだす。

合組機
製品の均一化と、茶の調整・配合が行われます。

仕上げ茶の
できあがり。

どんなところ？ぼくのまち

No. 7 狭山茶のはなし (4) さやまちや

—くらしのなかのお茶— ちゃ



いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりょく いるまはくぶつかん
協力・入間市博物館



「お茶は健康にいい」って
ほんとうですか？ ちゃ けんこう



お茶の中には、次のような成分が含まれています。

- タンニン (お茶のタンニンの主成分はカテキンといいます。) → お茶の渋みの成分 ちゃ なか つぎ せいぶん ふく
 - カフェイン → お茶の苦みの成分 ちゃ なが せいぶん
 - テアニン (アミノ酸の一種) → お茶の甘味と風味の成分 さん いっしゅ ちゃ あまみ ふうみ せいぶん
 - クロロフィル、フラボノール → お茶の色を出します。 ちゃ いろ だ
 - サポニン → 強い苦みとエグみをもっています。
 - その他、ビタミンA・B・C・E、フッ素 た エイ ビー シー イー そ
- ミネラル類 (カリウム、カルシウム、リン、マンガン) など るい



お茶の成分がもっている主なはたらき ちゃ せいぶん おも

タンニン(カテキン)	抗酸化作用 (老化防止)、解毒、殺菌作用 <small>こうさんかさよう ろうかぼうし げどく さっきんさよう</small>
カフェイン	大脳のはたらきを活発にする、強心、利尿作用 <small>だいのう かっぱつ きょうしん りにょうさよう</small>
ビタミンC	壊血病の予防 (1煎目のお茶には、とくにたくさんのビタミンCがはいっています。)
ビタミンE	老化を防ぐ <small>ろうか ふせ</small>
ミネラル類	血液を弱アルカリ性に保つ <small>けつえき じゃく せい たも</small>
フッ素	むし歯の予防 <small>むし ば よぼう</small>
サポニン	血圧降下・肥満防止作用・インフルエンザ予防 <small>けつあつこうか ひまんぼうしさよう ぶぼう</small>
フラボノール	消臭作用 <small>しょうしゅうさよう</small>

このような はたらきから、

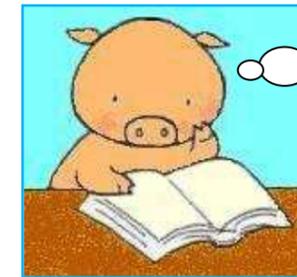
- お茶には、
- 疲労回復 ひろうかいふく
 - 成人病やガンの予防 せいじんびょう がん よぼう
 - 整腸、利尿作用 せいちょう りにょうさよう
 - 健康維持、老化防止 けんこういじ ろうかぼうし
 - タバコや酒の害を軽くする たばこ さけ がい かる
 - 口臭、虫歯の予防 こうしゅう むしば よぼう

の効果があるといわれています。



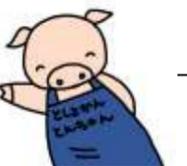
<参考資料> さんこうしりょう

- 「入間市のお茶・狭山茶」 いるまし ちゃ さやまちや
- 「健康を食べる・お茶」加藤みゆき著 けんこう た ちゃ かとう みゆき ちよ
- 「茶・茶・茶」南廣子著 ちゃ ちゃ ちゃ みなみひろこ ちよ
- 「新・日本の緑茶」清水清輔著 しん にほん りょくちゃ しみずきよすけ ちよ



お茶は O-157 ちゃ オーイチゴーナ
にもきくんじゃ！！

お茶と健康について、もっとくわしく知りたい人は、
「お茶の科学」山西貞著、「お茶の百科」松下智著、「お
茶の効き目」林栄一著、「茶・茶・茶」南廣子著、「健康
を食べるお茶」加藤みゆき著 た ちゃ かとう ちよ
などが、図書館にあります。大人むけの本ですが、よ
んでみてください。



茶の種類

お茶の葉は、つくりかたのちがいによって、いろいろな種類のお茶になります。

不発酵茶（緑茶）
 製造のはじめに、茶の葉を蒸したり釜で炒るなど、熱を加えて、茶の葉に含まれる酸化酵素のはたらきをためたもの。
 茶の葉の成分は原料に近く色は緑色。

半発酵茶
 茶の葉を日に干すなどしてしおれさせ、揉んで茶の葉の中の酸化酵素のはたらきを70% ぐらいのところでとめたあと、釜で炒る。
 色は紅茶にくらべて赤味がうすい。

酸化発酵茶
 茶葉をしおれさせ、よく揉んで、酸化酵素をじゅうぶんはたらかせて作る。色は紅褐色であまいかおり。

蒸し製（日本式）
 茶の葉を蒸気で蒸して作る。

釜炒製（中国式）
 茶の葉を釜で炒って作る。

煎茶

玉露

かぶせ茶

番茶

玉緑茶

碾茶（抹茶）

玉緑茶

包種茶

ウーロン茶

紅茶

…最もよく飲まれている茶で、新芽を蒸して揉んで乾燥させたお茶。

（深蒸し茶は、蒸しを強くしたもの。）

…新芽ののびる時期に、こもなどで日おおいをして作ったお茶。

…煎茶と玉露との中間的なお茶。

…かたくなった新芽や茎などを原料としたお茶。

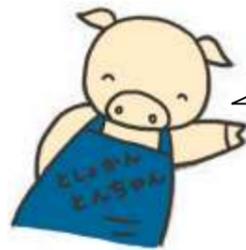
…精揉工程を省いて乾燥させたもの。形が曲がっていて、丸い。

…玉露と同じように栽培し、蒸したものを、揉まないで乾燥させたお茶。
 （それを茶うすでひいたものが抹茶。）

…茶の葉を蒸すかわりに、釜で炒ったあと揉み、かつ乾燥させたもの。
 （九州の嬉野茶や、中国・東南アジアの緑茶など）

…緑茶と紅茶の中間で、中国で多く作られているお茶。
 包種茶は花の香りをつけてある。

じゃあ、「ほうじ茶」や「玄米茶」はどんなお茶？
 番茶を、さらに強い火で焦がすように焙じたものが「ほうじ茶」、玄米などを加えて焙じたのが「玄米茶」です。



…酸化酵素をはたらかせて作られたお茶。
 インド・スリランカで多く作られている。



どんなところ？ぼくのまち



No. 8 さやまち 狭山茶のはなし(5)

いるまし とくさんひん さやまち 入間市の特産品・狭山茶

いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりよく いるましはくぶつかん
協力・入間市博物館

「狭山茶」って、どんなお茶？

主に、狭山丘陵と加治丘陵を中心とした地域でつくられているお茶のこと。
味は滋味（うま味）が濃厚で、独特の香りがあるといわれる。

さいたまけん ちゃ せいさん いるまし わりあい 埼玉県のお茶の生産で、入間市がしめる割合

へいせい ねんど 平成17年度	さいたまけん 埼玉県	いるまし 入間市
さいばいめんせき 栽培面積	1,170 ha	500 ha
あらちゃせいさんりょう 荒茶生産量	1,040 t	590 t

いるましはくぶつかんしりょう
(入間市博物館資料より)

さやまち おも せいさんち 狭山茶の主な生産地

さいたまけん ちゃさいばいめんせき 埼玉県の茶栽培面積

へいせい ねんど
[平成18年度]

1. 入間市 500ヘクタール
2. 所沢市 212ヘクタール
3. 狭山市 133ヘクタール

さいたまけん
(埼玉県ホームページより)

ちゃ さいばい 茶の栽培にむいているところ

茶の木は、あたたかい地方、なかでも
日当たりと水はけのよい台地や
丘陵地が栽培に適している。
入間市は、関東ローム層とその下の
武蔵野礫層が、「上湿下乾」を好む茶の
栽培に適しているといわれている。

いるまし だい い
入間市が第1位だよ。

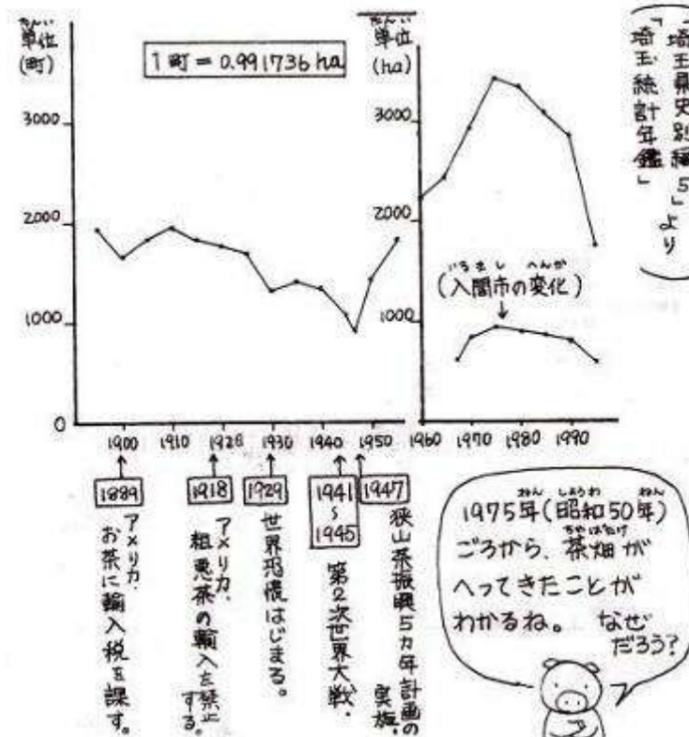


いるましない ちくべつ ちゃ さいばい 入間市内の地区別みる茶の栽培

ちく 地区	へいせい 平成17年の面積	へいせい 平成2年の面積	しょうわ 昭和50年の面積
1. 金子	184 ha	249 ha	318 ha
2. 宮寺	68 ha	117 ha	165 ha
3. 東金子	64 ha	99 ha	144 ha
4. 藤沢	50 ha	76 ha	101 ha
5. 豊岡	26 ha	42 ha	68 ha
6. 西武	9 ha	20 ha	31 ha
入間市合計	401 ha	603 ha	829 ha

さんこうざりょう とうけい ねん
<参考資料> 「統計いるま 1997年」 「入間市統計書・第13回」より

さいたまけん ちゃ さいばいめんせき へんか 埼玉県の茶の栽培面積の変化



さやまち こんご かだい 狭山茶の今後の課題

- (1) お茶の消費の減少
[コーヒーや紅茶などを好む人もふえてきました。]
- (2) 茶畑の減少
[後継者不足や都市化により、茶畑が少なくなってきました。]
- (3) 外国からの茶の輸入量の増加。

さやまち ひと
狭山茶をつくっている人たちは、これらの問題を解決するために、

- ① 合理化(機械化)
- ② 品質向上を、めざしています。

いるまし しみんぞくぶんかさいへん
「入間市史民俗文化財編」より

どんなところ？ぼくのまち

No. 9 狭山茶のはなし(6)

お茶に関する文化財



いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりよく いるまはくぶつかん
協力・入間市博物館

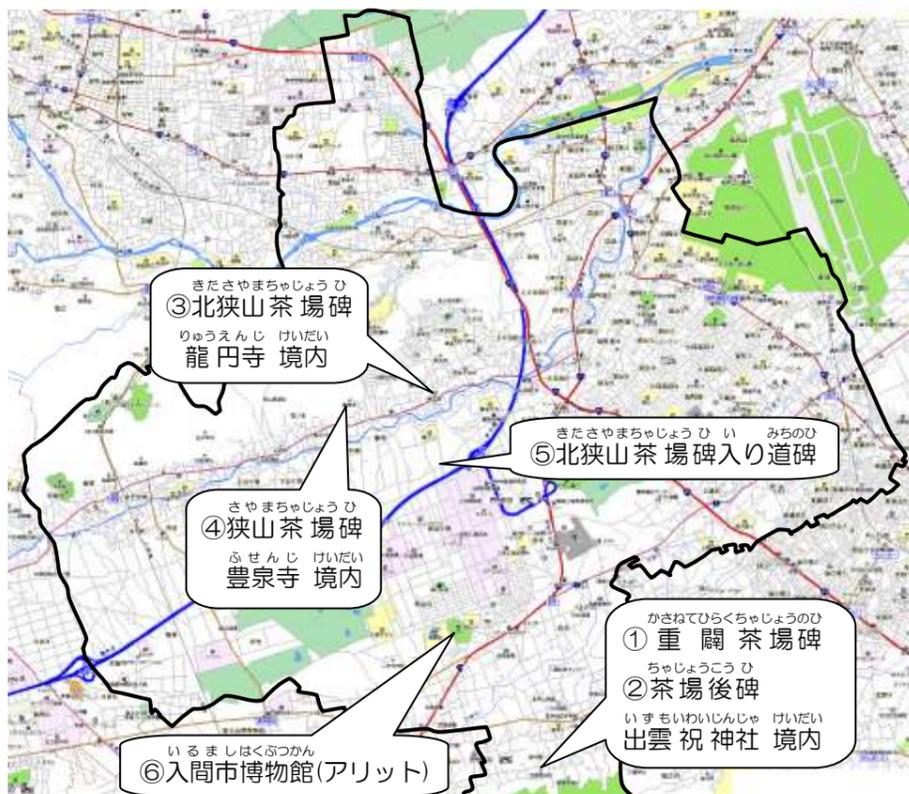
「狭山茶のはなし」(1)～(5)をよんで、お茶はかせになったみんな!

市内には、いろいろな狭山茶ゆかりの文化財が残っています。

興味があるひとは、たずねてみよう!



- ① 重 関 茶 場 碑
- ② 茶 場 後 碑
- ③ 北 狭 山 茶 場 碑
- ④ 狭 山 茶 場 碑
- ⑤ 北 狭 山 茶 場 碑 入 り 道 碑
- ⑥ 入 間 市 博 物 館 (ア リ ッ ト)



参考資料

- 「狭山茶史考」中島幸太郎著 「狭山茶場史実録」正・続 吉川忠八著
- 「入間市の文化財」第1～8集 「入間市の指定文化財案内」
- 「いるま市制施行30周年記念要覧」「入間 茶の里 ハイキング～東金子・金子コース」

【狭山茶の茶場碑(お茶の産地であることを示す石碑)】

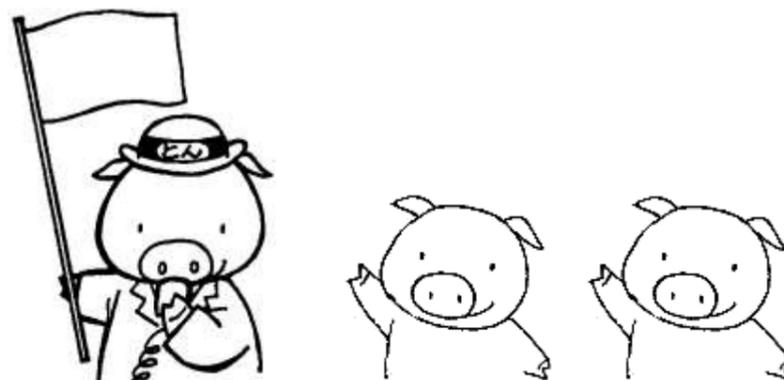
① 重 関 茶 場 碑 (宮 寺 ・ 出 雲 祝 神 社 境 内)

- 題の字は、松平定常(前縫殿頭)
- 文章は、林煒(後の大学頭)
- 文章の字は、巻大任《菱りょう湖》

内容：河越茶の発祥と、狭山の地における、茶業復興の由緒などが書かれている。

<天保3年(1832)の銘(日付)>

狭山丘陵において茶業が復活し、盛んになってきたため、茶業復興につくした人たち(村野盛政・吉川温恭・山本徳潤らの名が記されている)の功績を石碑にきざんで後の世にのこそうとたてられた。昭和42年、入間市の指定文化財に指定された。



② 茶 場 後 碑 (宮 寺 ・ 出 雲 祝 神 社 境 内)

- 題・文章の字は、萩原秋巖
- 文章は、中村正直(貴族院議員)

<明治9年(1876)にたてられた。>

別名「重建茶場碑」。
宮寺村の茶業者一同によりたてられた碑。

「重ねて(狭山)茶場碑を建てる」という意味。

平成26年に「重関茶場碑及び茶場後碑」として市の指定文化財になりました。



内容：茶業がさかんになっているようすと、貿易による狭山茶の海外進出のことが書かれている。

左が「重関茶場碑」
右が「茶場後碑」
出雲祝神社の境内に
ならべてたてられています。

③北狭山茶場碑（新久・龍円寺 境内）

- 題の字は、清浦奎吾（総理大臣）
- 文章は、重野安繹（文学博士）
- 文章の字は、松本英一《芳翠》

＜明治20年（1887）の銘（日付）で、
昭和12年（1937）、除幕式＞

金子地区でも、過去に4回、茶場碑をたてる計画があり、
文章がつくられたものの、どれも実現しなかった。

そこで昭和10年に、第3回めの計画の文章をもって
この碑をたてることとなった。この碑の石は茶場碑の中で
もっとも大きく、約3メートル。



内容：狭山茶場の紹介と、宇治と肩をなら
べる狭山茶の今日をきずいた昔の人
たちをたたえている。

④狭山茶場碑（中神・豊泉寺 境内）

- 題の字は、佐藤栄作（総理大臣）
- 文章は、佐藤一斎（儒学者）
- 文章の字は大舜臭

＜安政4年（1857）の銘（日付）で、
昭和46年（1971）にたてられた。＞

昭和45年の県立茶業試験場の金子地区への移転を機に、
先人の努力をたたえ 後世にのこすためにたてられた。
文章は過去4回の計画のうちの最初の安政4年（1857）
のものである。



内容：狭山茶の由緒と、当時の茶業のさかんなようす
や、お茶の効用などがかかれています。

⑤北狭山茶場碑入り道碑

（茶どころ通りといちょう通りの交差点わき）
昭和11年、「北狭山茶場碑」の道標として、
龍円寺の山門にたてられた。書は「茶場碑」
と同じ松本英一。高さ4.1メートル（台石も
ふくめると5.2メートル）重さ20トンの
日本一大きな道標である。
昭和59年に現在の場所にうつされた。



⑥入間市博物館（アリット）（二本木）

「入間市の名産品はお茶！」ということで、博物館では「お茶」のコーナーが特別に
作ってあります。お茶の歴史や文化、狭山茶について、実際に見て知ることができるんだ！
休館日は毎週月曜日ほか。入館料 小・中学生は50円
開館時間は午前9時～午後5時 くわしいことは電話2934-7711へ



手もみ狭山茶（保存会）

手揉み茶は 約4キログラムしあげるのに、2時間半以上もかかる重労働だったので、製茶
機械が発明されると、大正末期ごろから、しだいに機械製茶にとってかわられていった。
そのため、手揉み製茶の技術を知る人が少なくなってしまい、昭和47年、「手揉み狭山茶
保存会」をつくり、技術の伝承・保存につとめるようになった。昭和52年には入間市の無形
民俗文化財に指定され、「八十八夜新茶まつり」（5月ごろ・市役所まえ）などで、手揉み製茶
の実演を見ることができる。



いるましりつとしょかん
—入間市立図書館—
きょうりやく いるまはくぶつかん
協 力 ・ 入間市博物館

どんなところ？ぼくのまち

No. 10 姉妹都市・友好都市めぐり

—佐渡市・ヴォルフスブルグ市・奉化市—

「姉妹都市・友好都市」ってなに？

外国の都市と特別な親善関係を結ぶこと。
姉妹都市の間では、文化・人・物の交流など、お互いの理解を深めるために、さまざまな活動が行われています。英語では“sister city”といい、訳すと「姉妹都市」となりますが、姉妹だと上下関係があるので、中国では、姉妹都市のことを「友好都市」といいます。



入間市には、3つの姉妹都市・友好都市があります。2つの姉妹都市は、入間市の市制施行20周年事業(入間市が市となってから20年たったことを記念する事業)の一つとして結ばれました。友好都市は、奉化市と市民の交流が活発になったことにより結ばれました。

新潟県 佐渡市(昔は両津市) [昭和61年(1986)10月12日に姉妹都市となる。]

姉妹都市となった理由

入間市と自然環境が違うところと交流したい(特に埼玉県には海がないので海があるところ)という意見が多かったこと、また関越自動車道や上越新幹線の開通によって日本海側の地域がより身近になったこと、という理由から選ばれました。その時は両津市でしたが、現在は合併して佐渡市になっています。

平成16年(2004年)3月1日、佐渡島内の10市町村が合併して佐渡市が誕生しました。島全体が佐渡市です。

佐渡市の市章



佐渡市って どんどころ？

大和朝廷時代には、佐渡は国の北方を守る場所とされ、8世紀には国分寺も置かれていました。やがて佐渡は遠流の島と定められ、都から政治犯が流されてくるようになりました。

(順徳上皇、日蓮聖人、世阿弥など)

古くから金が出ると知られていた佐渡は、徳川幕府によって天領とされ、17世紀には、世界最大の産出量を誇っていたとみられます。金山の開発にともなって奉行や役人が江戸から派遣されたため、武家文化が佐渡へ流入しました。

また、江戸期には、上方(大阪方面)と北海道を結ぶ日本海航路が開かれ、北陸や西日本の文化が流入しました。このため島内の方言も実に多様で、能や鬼太鼓をはじめとする伝統芸能も豊富です。

現在の農業は米作りが中心で、約65万人分相当(島内人口の9倍以上)の生産量を誇っています。柿や干し椎茸作りも盛んで、特に干し椎茸の生産量は新潟県内合計の95%を占めています(1997年)。漁業ではイカ、ブリが多く水揚げされます。

見どころとしては、トキ・金山・佐渡おけさ・鬼太鼓・能などがあります。

新潟県の鳥でもあるトキは順調に個体数を伸ばしており、遠くない将来、きっとこの佐渡の空にトキがたくさん舞う日が来ることでしょう。

「トキふれあいプラザ」のマスコットキャラクター



佐渡市には、入間市と契約して
いる保養所もありますよ!



入間市からは、上越新幹線、または関越自動車道で、新潟港へ行き、佐渡汽船で佐渡市両津港まで行くのが一般的です。

さとし じんこう 292人 (2013年6月1日現在)

めんせき 面積は、855.27平方キロメートル (東京23区の約1.4倍)

し き 市の木…アテビ



し はな 市の花…カンゾウ



し さかな 市の魚…ブリ



し とり 市の鳥…トキ



ヴォルフラーツハウゼン市 (ドイツ連邦共和国バイエルン州)

[昭和62年 (1987) 10月14日に姉妹都市となる。]

しまいとし りゆう 姉妹都市となった理由

入間市内にある武蔵野音楽大学とミュンヘン音楽大学との交流がきっかけとなって、ミュンヘンに近いヴォルフラーツハウゼン市と姉妹都市になりました。

またヴォルフラーツハウゼン市のようすが、入間市のシンボル・テーマである「香り豊かな緑の文化都市」というイメージにぴったりであったことも理由となりました。



市章

ヴォルフラーツハウゼン市ってどんなところ?

イタリアとドイツとのあいだの交易都市として12世紀ごろから発展してきた、中世の面影を残す街なみの歴史ある町です。

また標高700メートルの緩やかな丘陵地帯にあり、郊外にはアルプスを臨む美しい田園地帯が広がります。

現在では、大都市ミュンヘンに近いことから、自動車や電気などの製造業がさかんになってい

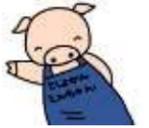
ますが、環境を大切に生活と自然が調和した町づくりが行われています。

1961年に市となり、面積は8.74km² (豊岡地区より少し広いぐらいの広さ)、

人口は約1万7400人 (平成25年現在) です。



ドイツ語で えーっと…
Wolfraatzhausen
とかきます。



奉化市 (中華人民共和国浙江省)

[平成12年 (2000年) 5月16日に友好都市となる。]

ゆうこうとし りゆう 友好都市となった理由

平成8年に、市民による「入間市・奉化市友好交流協会」がつくられてから、市民交流が年々盛んになっていました。そこで、日中両国および入間市、奉化市の繁栄と友好関係の発展を願い、平成12年に「友好都市締結議定書」が結ばれました。



奉化市はこんな街

奉化市は、上海から南へ約300キロメートル、人口約48万人、面積1253平方キロメートル (入間市の約28倍) です。

長い歴史をもつ洋服など衣料産業の故郷であり、年間3000万着のいろいろな種類の衣料品を生産しています。また、農業分野では、お茶、水蜜桃、里芋などが特産物です。



<参考にした資料>

「入間市の姉妹都市」「国際交流ニュース (姉妹都市ニュース)」「市報いるま512・537・539号」

「入間市統計書 平成9年版」「みんなの市町村③中部地方」「県別シリーズ・郷土資料辞典⑩新潟県」

写真は「入間市の姉妹都市」から、両津市の木・花・魚の図は「姉妹都市ニュース」から転載しました。